

こどもの幸せを
社会のまんなかに

～できることから、大人から～

ココロねっこ

ココロねっこ 5つの心がけ

認めよう
こどもの思いやその子らしさを受け止めよう

聴こう
こどもの話や心の声に耳を傾けよう

見守ろう
こどものやってみたい気持ちを応援しよう

つながろう
地域で互いに支え合う関係をつくろう

示そう
大人が日々の行動で示そう

ココロねっこ運動

「ココロねっこ運動」とは、子どもの心の根っこを育てるために大人のあり方を見直し、子どものすこやかな成長を促すための活動や取組をいいます。

一人ひとりの大人の関わり方が、子どもが自分自身を大切にし、まわりの人も大切にする気持ちを育みます。



■主唱団体 長崎県

長崎県教育委員会、長崎県警察本部、長崎県青少年育成県民会議、青少年育成市町民会議連絡協議会、長崎県ＰＴＡ連合会、長崎県公立高等学校ＰＴＡ連合会、長崎県私立中学高等学校ＰＴＡ連合会、長崎県教育会

たとえば、イイネ！こんなことから

認めよう



- 笑顔を心がける
- がんばりに気づく
- よいところを言葉にする

聴こう



- 話を最後まで聞く
- 気持ちを受け止める
- 一緒に考える

見守ろう



- 体験の機会をつくる
- やってみたいを応援する
- 成長をあたたかく見守る

つながろう



- あいさつを交わし合う
- 地域や学校の行事に参加する
- 一人で抱え込まない

示そう



- あいさつを大切にする
- 感謝を言葉にする
- 大人が手本になる



こどもの幸せを社会のまんなかに

～できることから、大人から～

県民の皆様のご協力により、ココロねっこ運動は２５周年を迎えました。

今回、これを契機に、これまでの運動を受け継ぎながら、こどもの権利やこどもの意見を尊重し、その幸せを社会全体で支える運動へとアップデートしました。

こどもたち一人ひとりが幸せを感じられる長崎県を目指し、**「こどもの幸せを社会のまんなかに～できることから、大人から～」**を新しいキャッチフレーズにココロねっこ運動を推進します。